



山王小だより



令和6年8月31日
狭山市立山王小学校
学校だより NO.15

男子217名 女子195名 計412名

校長 市川 博康

1 台風10号北上中 子供たちの安全を第一に考えます。

大雨や暴雨による被害が懸念されています。今後台風の進路や速度が変更になり予想が難しい状況です。子供たちの安全を第一に考え、対応してまいります。河川の増水等、注視していただき、川に近づかない等お声かけをお願いします。

9月2日(月)始業式の登校でございますが、ご連絡のとおり**通常登校であればメール配信なし。登校時刻を変更または休校の場合は、9/2(月)朝6時まで**にメール配信をいたします。

2 2学期74日間がスタートします。2学期もよろしくをお願いします。

記録的な猛暑だったこの夏の暑さもピークを越えましたが、まだまだ残暑が残っています。暑さ対策を引き続き行い、教育活動を進めてまいります。さて、明後日から2学期が始まります。防災の日(9/1)重陽の節句(9/9)敬老の日(9/15)十五夜(9/17)秋分の日(9/22)と続き、日の短さとともに朝晩の涼しさ等、独特の味わいを感じることが出来る2学期の前半となります。

2学期は、修学旅行【6年】(9/25,26)、市内体育大会【5、6年】(10/3)、運動会【全校】(10/26)校内音楽会【全校】(11/9)、狭山市小学校音楽会【4年】(11/13)…まさに「スポーツの秋」「芸術文化の秋」「学習の2学期」となります。それぞれのねらいや目標を達成できる準備や練習を重ね、実りある「〇〇の2学期」となるよう支援してまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願いします。



3 9月1日は、防災の日 **子供たちの自主性(自らの命は自分で守る)を育てる**防災訓練(9/3)

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、死者・行方不明者が2万人を超える大災害でした。この東日本大震災後、避難訓練についていくつか課題が指摘されました。例えば、揺れが収まった後に校内放送の指示で校舎外へ避難するというものがほとんどでしたが、耐震性のある校舎内から校庭に避難することが果たして安全なのか(避難している際に余震で転倒の可能性)、教室に児童がそろっている時に地震が発生するわけではないし、校庭や体育館にいる時や給食の準備をしている時、休み時間に地震が発生する場合もあります。また、大雨や雷と地震が同時発生する場合もある。ですから、**いつ、どこで、どんな状況で地震が発生しても自分自身が危険を予測(落ちてこない、倒れてこない)して、すばやく危険を回避することが重要**で、災害はいつどこで発生するか分からない、常に教職員や保護者がすぐ横にいるとも限らないので**「自分で考え、判断し、行動する力」**が必要です。



また、私たち教職員は、余震が続くこと、傷病者がいたり、停電で放送が使用できなかつたり、子供がパニックになり動けなくなつたり、大声で泣き叫び、家に帰ろうとしてしまつたりと、**「余震」「停電」「けが人、過呼吸」等を想定**しながら訓練をしなければなりません。

今後30年以内に70~80%起きると言われている**南海トラフ地震**への備えを踏まえ、これからは、子供たちの自主性を(自らの命は自分で守る)育てるような避難訓練を実施していこうと考えています。



4 不要になった上履きの寄付をお願いします。

本校では、上履きを忘れた児童に貸し出しを行っていますが、上履きを忘れる児童が多く、貸し出しができる上履きが足りなくなる場合があります。そこで、お子様の成長により、上履きを買替える時に不要となった上履きを寄付してください。その際に、お子様の名前等をマジック等で消していただくと助かります。ご協力よろしくお願いいたします。

5 新しい先生です。よろしくお願いいたします。

8月16日付で任用となりましたのでご紹介いたします。

今井 幸子 先生です。3, 4年生書写、算数(T・T、少人数指導)、風の子学級の書写を担当します。よろしくお願いいたします。